

移動金融店舗を導入 J A ぎふ、過疎地巡回



移動金融店舗の前でテープカットし、営業開始を祝う関係者＝岐阜市司町、J A ぎふ本店

や山県市の旧葛原、旧北山支店跡地を定期的に回るほか、災害時には県内外に出動する。

2日は記念式典を岐阜市司町のJ A ぎふ本店で開き、櫻井組合長は「統廃合によるサービス低下を防ぐ」とあいさつ。来賓の県信用農業協同組合連合会（J A 岐阜信連）の山田幹人代表理事理事長らとテープカットし、営業開始を祝った。

ぎふ農業協同組合（J A ぎふ、櫻井宏代表理事組合長）は、中山間地などで金融サービスを提供するための移動金融店舗「つなぐ号」を導入し、2日から営業を始めた。県内ではJ A めぐみのに次いで2例目。岐阜市東部や山県市の過疎地を巡回し、利用客の利便性向上を図る。

移動店舗は、2トントラックの荷台部分にカウンターのある店舗を設置。普通貯金の出入金や公共料金、税金の納付などができる。事業費は約3千万円で、農林中央金庫の助成金を活用した。

店舗には、職員2人が乗車。岐阜市の芥見支店に昨年統合した岩、藍川営業所